

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175800325		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム あかるい家		
所在地	夕張郡由仁町東栄16-18		
自己評価作成日	令和4年4月5日	評価結果市町村受理日	令和4年5月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0175800325-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0175800325-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和4年4月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームあかるい家は国道一本奥に入った静かな自然環境豊かな住宅街にあります。春近隣の散歩には緑が多く花畑が皆様の目を楽しませくれ、山桜の木も道路脇に長く並び楽しみの一つであります。毎年の夏祭りのイベント地域での神輿の秋祭りお誘い、あかるい家での楽しみなクリスマス会等中止となっております。南向きの大きな窓からは太陽の光と冬の景色を皆様と楽しんで過ごしております。初詣、どんど焼きなどの毎年のお出かけも自粛致して近隣の外出に留め商店街のくじ引きに夢を託して過ごしました。その分室内でのゲーム、いつもより多いごちそうの振る舞いを楽しんで頂きました。春を間地かにして今年の桜は皆様と一緒にに行ける希望を持っていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

JR由仁駅から徒歩圏内の自然豊かな由仁町の住宅地に建つ、1ユニット9名が暮らす平屋建ての事業所である。建物内は清潔で明るく開放感がある。3つのソファの向きを変え、好みの場所に腰掛けながら窓から車道を往來する車や散歩する住民を眺め雑談をして過ごすなど、自由に暮らしている。法人は地元で高齢者が暮らす多数のグループホームと高齢者向け住宅を展開しており、そのネットワークを通して支援体制が整っている。災害時における備蓄品の相互協力による追加支援や発電機の優先利用、行事ごとに届く仕出し料理や海鮮弁当の提供を受けている。管理者や計画作成担当者をはじめ、全ての職員が利用者を主体とした慌てずゆったりとした支援を実践している。要介護度が高くなった場合でも可能な限り入浴支援を行い、湯船に浸かって心身のリラククスが出来ることを意識しつつ、皮膚トラブルなどの異変がないか観察も行っている。利用者の使用する排泄用品を検討して、排泄時の不快な気持ちを軽減している。職員は、業務を優先することよりも利用者がいつまでも元気で事業所で暮らせることを願い、利用者に寄り添った丁寧なケアサービスを行っており、利用者も自宅に住まう安心感で居心地よく暮らしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は居間の食堂に掲げ「地域と共に」を日に必ず目にする事で確認行っています。	事業所の理念はパンフレットに記載しているほか、共有空間の対面キッチン上部の壁に掲示している。利用者のゆったりとした暮らしを守るため、職員が利用者を急がせない介護をするようミーティングでも話しており、理念を実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣から、コロナ過でも季節的にお花を頂いたり社協様からの声掛け、贈り物を頂いたり、。町内会費集金時の声掛け心配頂いております。	感染症対策として外部との交流を自粛していたが、近隣住民とは良好な関係が継続されており、自宅で打った蕎麦や土産品などが届いている。地域の老人会から情報をもらうなど日常的に交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏祭り、秋祭り、交流会など毎年のお誘い中止ですが外でお会いすると変わらぬ声掛けで安否気遣い互いにされ・・・いつか・・・笑顔での会話がございます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議中止でございますが、昨年は日頃の生活サービス提供情報に対する評価を書面上委員様に本部通しご意見いただき反省も話し合っております。	感染症対策として外部からの訪問を制限していた期間もあり通常通りの開催には至っていないが、今後は書面等の会議など可能な方法を検討し、定期的に開催をしたいと考えている。	開催方法を再度検討し、定期開催が出来ることに期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役場、病院、消防様とは認定調査、個々の手続き助言、緊急時、入退時の関わり、火災訓練時の指導協力、助言頂きながらケア向上に務めております。	管理者会議は参集での開催は出来ない状況のため、事業所へは電話連絡にて情報が届いている。要介護状態区分の変更や事故報告等を行政の担当者へ提出の際に意見を聞いている。感染症対策の面でも連絡を取り合い協力体制を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止対象行為学習の継続、基本から日々学習会で学びケアに役立てております。	身体拘束廃止に係る指針や、やむを得ない身体拘束に関する説明書と経過観察記録を用意している。身体拘束に関する委員会と研修も行っているが、主にミーティング内で話すことを重視しているため、それらの書類整備はこれから行う予定である。不適切ケアに結びつくような言葉使いはしていない。	身体拘束廃止委員会やそれらに係る研修記録は整備する意向があるため、その実現に期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉かけ、ケア、関わりの中で不快な感情を持たせぬような日々のスタッフ態度に皆が十分目配りし、防止に勇気をもって声掛け合いを重要としています。		

グループホームあかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	家族との連携で個々の必要性が把握できた場合に再度の資料学習を行い活用できるように支援を行います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族本人、法人側、管理者、介護士、介護支援専門員交え、ご本人家族の緊張を少なく安心して暮らせるような方向性に話を進めて参ります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や行事、運営推進会議、家族等の来所時に意見、提案などを聞き入れていたが、コロナの影響により難しいものになっている。	家族会連絡つづりに家族からの意見を記録している。毎月、利用者ごとに写真付きの手紙を家族に郵送し状況報告をしている。日頃の様子を家族へ電話連絡した際に要望がないかを聞いており、可能な限り対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも意見を言える雰囲気づくりに努め、こまめに意見を聴衆している。	ミーティングで毎回意見が出されており、職員の発案で業務を見直し改善をしている。管理者が常日頃、些細な意見も聞いているが、法人の幹部職員が訪問の際にも職員を気にかけてサポートしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は各事業所を回り直接職員の勤務状況や職場環境の把握に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会を設け、質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	由仁町ならびに湯に社協主催の会議や講習会に参加し意見交換、交流をしていたが、コロナの影響により難しくなっている。		

グループホームあかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安と落ち着かない事が多いため、じっくりと昔からの話をお聞きし、悲しみ、楽しみ、得意な家事と嫌いなこと、食生活等を何度もお聞きします。一緒にできる家事から。ゆっくりお茶を頂いて行きます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族から見た話と本人の話をお聞きし互いの思いが少しでもかなうようなケアに務めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の意向に沿って最優先を決め、フォーマルインフォーマルサービス含めて対応行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の意欲、興味、可能行動範囲を見極め一緒に小さなことから行っていただき喜びも分かち合える関係づくりに努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の意向を十分把握し本人との関わりを低下させぬよう密に状況連絡し合いプランにも反映し了解頂くよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	玄関先ですが、親戚家族が来る以外は現在はお断りが続いています。電話も少なくなっております。	ベンチに腰掛け職員の行う畑作業を見たり、車椅子の利用者も事業所の周辺へ散歩に出かけている。家族が迎えに来て自宅へ一時帰宅する利用者もいる。利用者の馴染みの支援は出来る限り継続をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	あまり互いに話はないが、ゲーム、かるた、歌などのレクになると大はしゃぎで一体になって楽しめるので機会作りに努めます。		

グループホームあかるい家

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	実施状況	実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	昨年秋に101歳、老衰で亡くなられた方の家族様とはその後もお会いして安否の報告がございました。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思表示困難の方に心身状態を日々の情報共有の上本人本位対応。表現豊かな方は危険がない限り一緒に行動、寄り添いケアをつづやきノートに記録。	日々の会話で欲しいもの、食べたいものを聞いている。会話が難しい利用者は顔の表情や発する声のトーンなど些細な行動を検討し、希望を把握している。情報は介護計画の更新時に活用している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴を、歳重ねて生活環境変わりに慣れないでいる原因の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	少しずつ環境に慣れていただくには、何気ない言葉がけ、寄り添い一緒に家事、買い物などの行動が本人の安心感が強く見られますので努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族と本人の意向を見直し時期の3か月毎に職員も含め交代で評価、アイデアを出し合いプランに反映しております。小さな目標には達成度はありますが、現状維持が多いと思います。	家族と本人の希望を取り入れ、全ての職員が問題点を出し合い評価をしたのち、3か月ごとの介護計画を作成している。利用者の状況に変化があれば計画は都度見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画書と連動した日々の生活記録個別に実践、結果、記録し特変、重篤情報は重ねて連絡ノートに記載周知。ミーティングでも状況話し合いプランに活用。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時のニーズに合わせてフォーマル、インフォーマル、家族、医師、地域様、柔軟なご協力を頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域様、民生委員様との関わりは現在玄関先だけのふれあいとなっておりますが、互いの安否が確認できています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後はかかりつけ継続、市内は職員同行、状況により家族同行もあり直に医師の所見も。病状に寄り市街も職員、家族同行もある。訪問診療は家族の意向で紹介行っています。	看護師が毎週訪問し健康管理を行っている。通院や往診の受診内容は利用者ごとに記録している。入院した場合は早期退院に向け事業所で出来ることは対応をしている。	

グループホームあかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	緊急時は24時間体制、週1の勤務。医療的な学習、処置指導、助言を頂き一緒にケアを行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医者、看護師、相談員との通信での連絡、報告、入院時から相談員とは退院の予定が知らされるように進めて、車椅子に移乗出来る範囲で退院されている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化対応、終末期ケア指針に沿って可能な限り医師の判断のもとで家族と話し合い希望に応じて看取りも行っている。「昨年10月28日あかるい家で看取り行わせていただく。101歳 老衰」	重度化した場合は本人や家族の希望があれば方針を検討し事業所で看取り対応に切り替えている。訪問診療の医師、看護師を含め24時間対応で最後まで住み慣れた事業所での看取り支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、転倒、過去現在もごさいますが、応急手当、処置、連絡など日頃の実践を生かし対応に努力を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常災害計画書を作成し非常時に備えています。	3月と12月に夜間の火災を想定した訓練を実施している。災害備蓄品の準備があるが、本部が近いため緊急時に発電機等の搬入が出来る体制になっている。次回の訓練は自然災害を想定した訓練を計画している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	話しかけは静かに目を見て「さん」付け。名前入りの書類等の整理。お部屋はノック。トイレは汚染下着の確実性を小耳にはさんでから対応。	職員ミーティングでは、利用者の誇りを尊重し、焦らず慌てずゆったりとした言葉かけやさりげない対応を日常的に確認している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩のお誘い、家に帰りたい、体調が悪く不調の訴えなどご自分の意見を直に訴えますので、対応できる限りの内容でお答えしています。無理な時は会話と甘いお茶で落ち着いていただきます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々できるだけ本人本位の暮らしを基本とし、テレビ内容、音楽、かるた、家事等本人の希望を優先してそれぞれ楽しんで頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	誕生会、正月、クリスマス、、お出かけ等家族様のご用意の身支度で写真をとって家族にも送付致します。		

グループホームあかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	昨年の秋干した大根で醤油漬けをし浅漬け、鯨漬けと御飯のお供に喜んでいただく。お膳、箸、配膳、食器拭き、お盆、テーブル拭き等できる力をお借りして皆様と行う。	利用者の好みや旬の食材を、食べやすく手作りした食事を提供している。手作りの漬物やおやつ、特におはぎは好評である。行事食では握り寿司やオードブルなど食事を楽しむ工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の疾患と年齢、食欲を把握し水分量、食量、職員統一して提供。日々の記録記載。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後義歯洗浄ケア支援、全介助はガーゼ、スポンジでのケア、水分咽がある方はふき取り、自立の方も確認行う。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は小パット使い排泄パターンをそれぞれ把握しトイレでの排泄重視しております。	一人ひとりの力やサインから察知してスムーズな排泄支援へと取り組んでいる。トイレ排泄の自立者を見守り、ベッド上での排泄や衛生用品の工夫、トイレ誘導など慌てず焦らず、ゆったりした対応で接している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々排便の日と柔らかさ量を記録、頑固の方には水分量、繊維質に気配り下剤の薬も担当医から処方あり。便秘気味の方には日頃の動きと水分量の変化をおこない排便に繋げている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	拒否強い場合雰囲気づくりにスタッフを替え時間をづらしたり、沢山興味話を振ったりと週2回楽しんで頂いている。	利用者の体調や希望を配慮して週2回の入浴を支援している。入浴を拒むときは職員が工夫を重ねて実施して気分転換を図っている。重度者の入浴支援でも福祉用具や適切な介助で取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居間で時間までテレビ楽しむ人、部屋でテレビ見ている人、遅くまでトイレ何往復もされる人等それぞれの安心される時間があり見守りながら確認行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の処方投薬前もって個々に毎日分用意。確認して服用支援、同じ薬でも特変の有無確認。薬変化時は医師に報告。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の役割が決まって。拭き掃除、モップ掛け、お膳拭き、箸置き、配膳、お茶碗下げ、拭き、花に水、ウエス作り、袋たたみ、等一緒に行い元気になりコーヒー紅茶を頂くことが楽しみの様子です。		

グループホームあかるい家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ここ2年くらいは外出は控えておりますが、一人ずつドライブ、散歩、ゴミ出し、日向ぼっこ等近間の連れ出して我慢頂いております。これからサクラのシーズンなので一人ずつ近間でも楽しんで頂こうと計画。	感染症の流行で外出行事は自粛している。近隣への散歩は車椅子の利用者も参加して楽しんでいる。玄関前の東屋では日光浴や外気浴を楽しみ、地域の人と触れ合う機会にもなっている。個別支援で受診後のミニドライブや近くの商店で買い物するなど好評である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様との連携で現在は小銭でも預かりとさせていただきます。問題が多く発生したため。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在は何人かの方が電話対応可能と思われませんが気持ちを乱してしまわれると思い混乱回避のため玄関先での面会のみ。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	朝の掃除、空気入れ替え、除菌に力を投じ共用場所は拭き掃除マメに、匂い優しい花飾り観葉植物に話しかけ大きな窓からは太陽さんがあたり、雪解けが進み外の景色は春。ゆったりと深呼吸を楽しんでいただいております。	共用空間は明るく清潔感がある。リビングの大型ソファでは相撲やのど自慢などを楽しみながら会話が弾む居心地よいスペースとなっている。リビングの両側には居室が並び、回廊式の廊下には手すりを設置している。感染症対策では入念に掃除や除菌をし、1時間ごとに5~10分換気するなどしっかり取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	話好きの方の隣は一緒に楽しめる方、相撲、懐メロ、お笑い、時代劇お好きな方にはテレビに、ラジオ自室で過ごす方、居眠りの方。本読む方それぞれ楽しみを持たれております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前からの馴染みの寝具類、生活用品、家族写真、仏壇位牌等安心されて過ごされますように、お部屋の入口には暖簾を下げプライバシーに気配りさせていただきます。	居室には簞笥やベッドが備え付けられている。利用者の馴染んだ家具や好みの小物などを持ち込み、思い出の家族写真を飾っている。仏壇の世話など習慣が継続できるように居心地よい部屋作りを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関からバリアフリー障害物は置かず手すりを壁側ぐるりと回し安全な歩行が可能、居間は広く窓は大きくあかるく車いすが自由に行き来でき、暖簾でプライバシーに気配り行っております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームあかるい家

作成日：令和 4年 5月 12日

市町村受理日：令和 4年 5月 17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	推進会議は、感染症対策として外部訪問制限していた期間あったため、通常の開催には至っていなかった。	開催方法を再検討し可能な限り、定期開催に向けて努力致したい。	感染状況を見ながら、書面での会議も取り入れながら推進会議ができますように委員様にもご協力をお願い致したい。	1年間
2	6	身体拘束廃止指針、やむを得ない拘束説明書、経過観察記録あり研修も行っているが、記録書類がわかりづらい。	身体拘束廃止委員会や、関わる研修記録等の書類整備に具体的記録に努力致したい。	身体拘束委員会、研修記録等の独自の記録作成書を整備し残していく。	1年間
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。